

北海道大学は30日、化学分野で最先端技術を研究する新組織を6月1日に立ち上げると発表した。2010年にノーベル化学賞を受賞した鈴木章名誉教授のクロスカップリング反応に関連する研究や医薬品向けの新物質の発見、バイオマス燃料を効率的に活用する仕組みなどを研究する。鈴木名誉教授が顧問に就く。

新組織は「フロンティア

## ノーベル化学賞・鈴木氏に続け 北大が最先端研究組織

化学教育研究センター」でセンター長は鈴木名誉教授とともにクロスカップリング研究に携わってきた工学研究院の宮浦憲夫特任教授が就く。教員は16人で4つの研究分野を設置する。同組織は国際性豊かな研究者や技術者の育成も目指す。海外の第一線の研究者を招いて最先端の講義をする。企業研究者による産業実学講義なども実施する予定だ。